

熱してたたく これぞ打刃物

与板で鍛冶体験会

長岡市与板地域に伝わる打刃物づくりを体験する「与板鍛冶体験工房」の本年度の活動が始まった。初日は県内外から6人が参加し、小型の刃物づくりに挑戦した。

与板地域の鍛冶職人ですくくる「与板鍛冶衆」が与板町2017年から開いている。



東与板の鍛冶屋を活用し、硬い鋼と軟らかい地金を

打刃物づくりに挑戦した「与板鍛冶体験工房」
＝長岡市与板町東与板

熱し、たたいて一つにする鍛接を手作業で行うのは全国的にも珍しい。22日の参加者は職人の指導を受け、真っ赤になった鉄を電動ハンマーでたたいてくっ付け、形を整えて3時間ほどで刃物を仕上げた。

刈羽村上高町の梁取勝芳さん(65)は、趣味の木工で使う小型のノミを製作した。「うまく切れるかどうか、使うのが楽しみです」と笑顔を見せた。

体験工房は11月まで月2回(7、8月は1回)、土曜に開かれる。午前9時～午後3時。体験料5千円。問い合わせは事務局、070(4474)7490。